

歯科英語

講師	星野 夢子	実施時期 単位数	第1学年前期 2単位 (30時間)	実務経験	○
一般目標 (GIO)	歯科で必要とされる語学の基礎力を身につけるために、「読む」「書く」「聞く」「話す」に関する基本的知識と能力を習得する。				
授業概要	歯科医療について最低必要な用語を学び、外国の歯科関係文献で、最新情報を得る為にも、読解力を身につけさせる。				
学習方法	講義				
成績評価の方法	定期試験85%、復習問題、提出物10%、授業態度5%の総合評価				
教科書	プリント配付				
履修上の注意	日常の語と異なる専門用語を早く覚え、語彙数を増やして欲しい。				
参考書	川口陽子 監修・著「丸ごと覚える歯科臨床英会話フレーズ集」クインテッセンス出版 Thomas R. Ward 著 Part 2「英語が話せる歯科衛生士」 Part 4「英語が話せる歯科衛生士続編」クインテッセンス出版 その他適宜紹介				
実務経験のある教員 (概要、科目との関連性)	中学校教諭の免許を持ち、塾などで講師をしてきた経験を元に、歯科で必要とされる語学の基礎を身につけるよう講義を行う。				

授業計画

No.	授業項目	到達目標 (SB0s)
1 2	使用頻度の高い、基本的な歯科英語の修得	単語の意味を理解し、読み書きができる。 さらに多くの単語の読み、書く、暗記ができる。
3	読解力を高める為、実践に役立つ歯科臨床英会話フレーズの解釈 1)受付での会話(診療前)	各文の読み、書き、理解ができ、必要に応じた最低限の対応ができる。
4	2)位置、姿勢、動作の指示	各文の読み、書き、内容を理解し、その場に応じた指示ができる。
5	3)問診 (既往歴、一般症状、痛み、歯周疾患)	各文の読み、書き、内容を把握し、質問ができる。
6	4)ブラッシング指導	各文の読み、書き、内容を把握し、指導ができる。
7	5)う蝕予防処置	各文の読み、書き、内容を把握し、説明ができる。
8	6)エックス線撮影	各文の読み、書き、内容を理解できる。
9	7)局所麻酔	各文の読み、書き、内容を理解できる。
10	8)治療の一般的説明	各文の読み、書き、内容を理解し、質疑応答ができる。
11	9)治療後の注意事項	各文の読み、書き、内容を理解し、必要に応じた説明ができる。
12	10)薬の服用方法	各文の読み、書き、内容を理解し、個々に応じた基本的な数、単位を選別し、使用できる。
13	11)受付での会話(診療後)	各文の読み、書き、内容を理解し、日常会話での質疑応答ができる。
14 15	定期試験に対する総復習及び練習問題	今まで学んだことを応用して、読む、書く、聞く、話すができる。